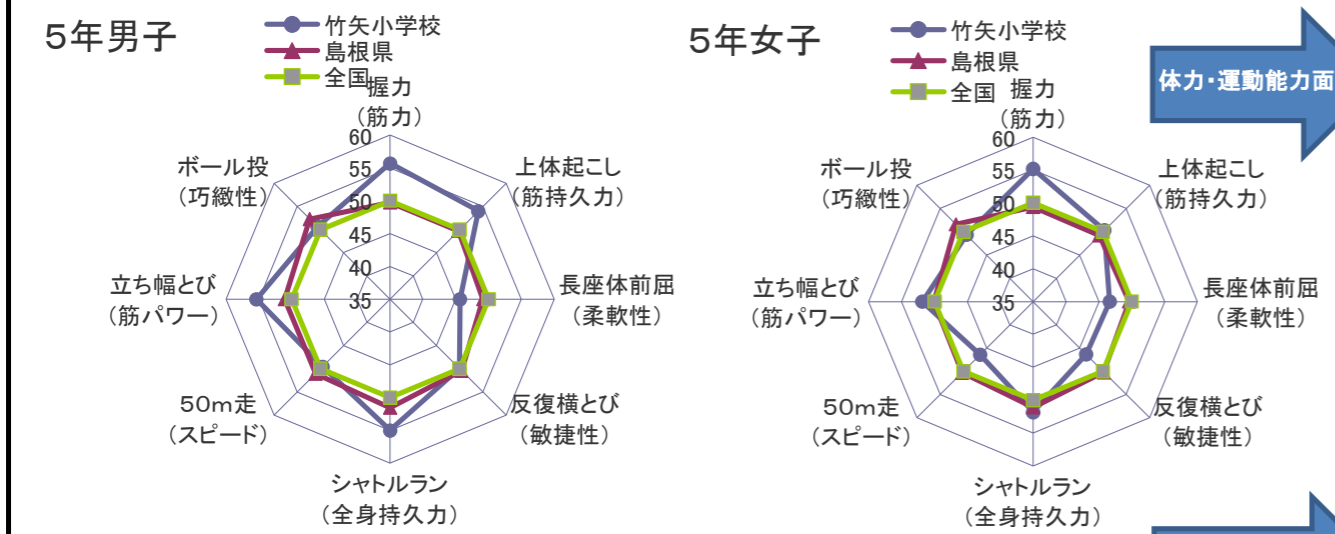
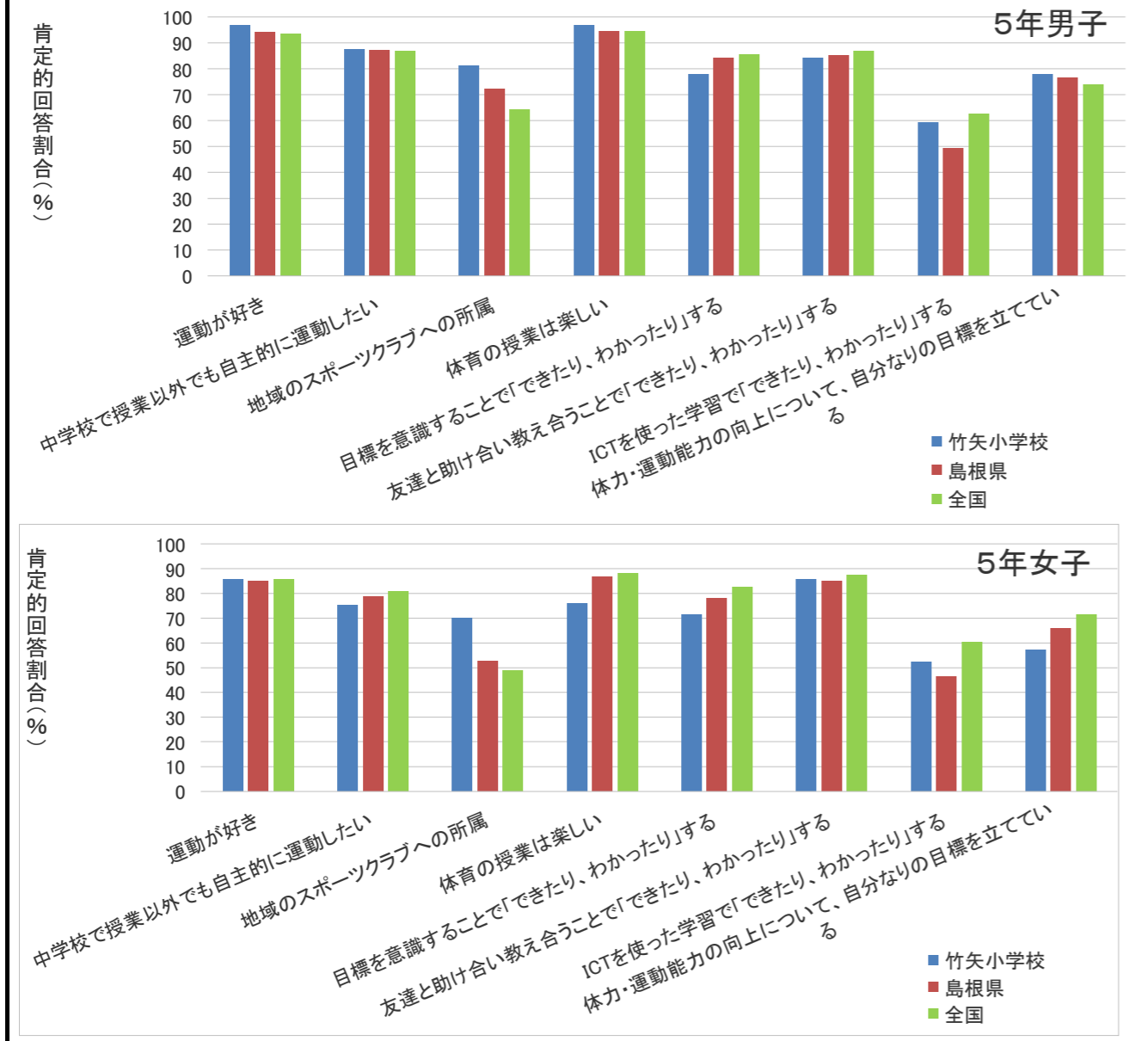


(1) 令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)



全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査＜意識調査＞の結果  
(体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)



(2) 調査結果の分析

① 体力・運動能力面 全国(偏差値)との比較

	握力 (筋力)	上体起こし (筋持久力)	長座体前屈 (柔軟性)	反復横とび (敏捷性)	シャトルラン (全身持久力)	50m走 (スピード)	立ち幅とび (筋パワー)	ボール投 (巧緻性)
男子	5.7	4.0	-4.3	-0.1	5.0	-0.4	5.4	0.6
女子	5.2	0.3	-3.4	-3.6	1.8	-3.6	1.9	-0.7

【-5p以上】 【-5~-2p】 【-2~0p】 【0~2p】 【2~5p】 【5p以上】  
弱み ← → 強み

② 意識面 全国(割合%)との比較

	運動が好き	中学校で授業以外でも自主的に運動したい	地域のスポーツクラブへの所属	体育の授業は楽しい	目標を意識することで「できたり、わかったり」する	友達と助け合い教え合うことで「できたり、わかったり」する	ICTを使った学習で「できたり、わかったり」する	体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てている
男子	3.4	0.6	16.9	2.3	-7.5	-2.4	-3.2	4.2
女子	-0.1	-5.6	21.2	-11.9	-11.1	-1.7	-7.8	-14.2

【-7%以上】 【-7~-3%】 【-3~0%】 【0~3%】 【3~7%】 【7%以上】  
弱み ← → 強み

(3) 令和8年度の方針【学校全体での取組】

- ① 体力向上や体育授業に関する校内研修会等の計画について
  - ・年度当初に体力向上推進計画をもとに方針を共通理解できるようにする。
  - ・年度当初に本校児童の体力・運動能力に関わる強み・弱みを共有する。
  - ・体育にかかわる研修に体育部が積極的に参加し、学年、学級へ広めて実践できるようにする。
- ② 体育科授業の工夫・改善について
  - ・体育の授業を核として、運動への意欲喚起を図り、運動の日常化を目指す。
  - ・授業の中で
    - \* 指導内容を明確にし、めあてとふり返りをより意識できるようにする。
    - \* その運動が持っている楽しさを味わえる場面を保障し、実態に即した楽しみ方を工夫する。
    - \* コツ見付けや動きの良さなどを伝え合う場を設定し、言語活動の充実を図る。
  - ・五種目歩走、サーキットを授業の中で適切に位置付けて実施する。
  - ・個に応じた記録の伸びや記録の変化が分かるようにし、できる喜びや伸びる嬉しさを実感できるようにする。
  - ・運動能力向上のために購入した教具を積極的に活用する。
  - ・体育に関わる備品の整理、体育の授業に関わる場の環境整備を行い、全職員や児童が体育の授業を充実して実施できるようにする。
- ③ 体育授業以外の活動の工夫について
  - ・「しまねっ子元気アップカーニバル」に申し込み、全校なわとび集会を実施する。
  - ・児童会での活動を活かし、運動の場の設定や、運動に対する意欲付け、運動を介した交流など、児童会を関連させた取組を行っていく。
  - ・児童会を中心に正確な姿勢体操を全校に紹介する。生活時程の中で姿勢体操の時間を位置付けた取組を継続する。
- ④ 家庭・地域、近隣の学校・園等との連携、情報発信について
  - ・校内で実施しているチャレンジ習慣と関連させながら、学級だより、保健だより等で保護者への啓発を図り、意識を高める。